

# シンポジウム

## 「奇跡の牛・元気くんが結ぶ」

一産官学連携による吉井川流域の  
文化・経済の交流と地域活性化を考える

岡山県牛窓ヨットハーバー

阿弥陀山から瀬戸内海を望む

唐琴の瀬戸から「あいの光医院・牛窓」を望む

2023

7/17

月

13:00~17:00



会場：あいの光ホール（あいの光医院・牛窓 内）

岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓 3121-1

駐車場有(台数に限りがあります。できる限りお集い合わせをお願いいたします)

参加費：現地参加：無料（当日会場にて抄録集を500円で販売）

Web参加：無料

定員：現地参加 100名+Web 配信(無制限)



基調講演

特別講演・共同座長

共同座長

シンポジスト

シンポジスト

シンポジスト

シンポジスト



岡山大学大学院社会文化科学研究科・文学部 教授  
清家 章氏



倉敷商工会議所 会頭  
井上 峰一氏



社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長  
青木 佳之氏



勝央町長  
水嶋 淳治氏



和気町長  
太田 啓輔氏



備前市長  
吉村 武司氏



瀬戸内市長  
武久 顕也氏

●主催：地域共生社会研究会 実行委員会

●共催：株式会社 日本医療企画

●後援：瀬戸内市、備前市、和気町、勝央町、倉敷商工会議所、社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

地域共生社会研究会 事務局

E-mail:chiikikyousei.okayama@gmail.com

岡山市南区大福 281-5（青木内科小児科医院内）TEL：086-281-2267

当日お問い合わせ先：086-934-6161（あいの光ホール）

# プログラム

**開会式** 13:00～13:15

- 主催者挨拶 地域共生社会研究会代表 青木 佳之氏
- 開催地代表挨拶 瀬戸内市長 武久 顕也氏

**基調講演** 13:15～13:55

古墳時代の吉井川流域 人と文化の交流～月の輪古墳や両宮山古墳を中心に～(仮)  
岡山大学大学院社会文化科学研究科・文学部 教授 清家 章氏

**特別講演** 14:05～14:35

地域経済活性化に向けた倉敷商工会議所の取り組み  
～禅の悟りプロセス『十牛図』に学ぶ～(仮)  
倉敷商工会議所 会頭 井上 峰一氏

**シンポジウム** 14:45～16:15

テーマ「吉井川流域の文化・経済の交流と地域活性化を考える」  
共同座長 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 青木 佳之氏  
共同座長 倉敷商工会議所 会頭 井上 峰一氏

シンポジスト講演

元気君のストーリーを次の世代につなぐ(仮) 勝央町長 水嶋 淳治氏

シンポジスト講演

和気清麻呂と文化 町の活性化を探る(仮) 和気町長 太田 啓補氏

シンポジスト講演

疫神牛頭天王を祭る田倉牛神社の言われと市活性化への取り組み(仮)  
備前市長 吉村 武司氏

シンポジスト講演

文化交流を考える～牛窓・邑久・長船の歴史からひもとく(仮)  
瀬戸内市長 武久 顕也氏

**パネルディスカッション** 16:25～16:55

**閉会式** 16:55～17:00

- 共催者挨拶 株式会社 日本医療企画 代表取締役 林 諄氏

# 講師紹介 (敬称略)

岡山大学大学院社会文化科学研究科・文学部 教授

清家 章



【経歴】  
1993年大阪大学大学院文学研究科前期課程修了。2008年「古墳時代の埋葬原理と親族構造」で文学博士。大阪大学文学部助手、高知大学人文学部助教授、同教授を経て、岡山大学文学部社会文化科学研究科教授(現職)。2023年3月まで「明日の高梁川を語る会」委員、現在も「明日の吉井川を語る会」と「明日の旭川を語る会」の委員を務める。  
【専門】  
日本考古学。親族構造論を埋葬施設・古人骨等からの分析から追求し、それを基礎にして古墳時代王権論を展開する。  
【主な著書】  
『古墳時代の埋葬原理と親族構造』大阪大学出版会、2010  
『埋葬からみた古墳時代 女性・親族・王権』(歴史文化ライブラリー)吉川弘文館、2018  
『卑弥呼と女性首長』(新装版)吉川弘文館、2020

倉敷商工会議所 会頭

井上 峰一



1949年 岡山県倉敷市に生まれ(昭和24年2月1日)  
1971年 花園大学を卒業。有限会社井上葬儀(1977年、株式会社いのうえに改組)に入社。  
1985年 株式会社いのうえ、及び株式会社鶴林 代表取締役社長に就任。以後、葬儀業界の旧弊を改めるべく、料金やシステムの明示、CIの導入など、次々に改革に着手。  
1990年 都市化・核家族化という社会環境の変化を見越し、中四国では初めての本格的な葬儀専用ホールとして「エヴァホール倉敷」をオープン。  
2000年 国家公務員共済組合連合会・特約葬祭業者連絡協議会 会長に就任。  
2001年 ISO9001 認定を所得  
2012年 学校法人関西学園 理事長に就任。  
2013年 倉敷商工会議所会頭に就任。以来、葬儀業界のみならず、倉敷を中心とした高梁川流域圏も含めた地域の活性化にも、持ち前の発想力・実行力、リーダーシップをもって取り組んでいる。  
2020年 旭日小綬章を授与される。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長

青木 佳之



【略歴】  
昭和19年6月 愛媛県生まれ。  
昭和47年 岡山大学医学部卒業  
昭和47年 岡山大学医学部附属病院第三内科勤務  
昭和57年 岡山大学医学部衛生学教室(文部助手)勤務  
昭和60年6月 岡山市 南区 大福に青木内科小児科医院開業  
【現職】  
医療法人青木内科小児科医院理事長  
社会福祉法人全国社会福祉協議会  
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会会長

勝央町長

水嶋 淳治



昭和27年岡山県勝央町生まれ。広島大学水畜産学部卒業。昭和53年勝央町入庁、産業建設部・税務住民部参事等を経て、平成19年副町長。平成23年9月に町長就任。現在3期目。

「子育て支援」「健康づくり」「農業等産業の振興」「安心・安全のまちづくり」を中心とした施策等を実施し、町民一人ひとりが等しく幸せを実感できる「元気なまち勝央」を創るために全力を傾注している。  
職員時代に岡山県に出身し、「奇跡の子牛 元気くん」が生涯を過ごした、おかやまファーマーズ・マーケットノースヴィレッジの開園に携わり、町長として「元気くん」の最期を見届け、ブロンズ像を建立しその功績を称え、元気なまち勝央の発展を誓った。

和気町長

太田 啓補



昭和33年5月30日 和気町生まれ  
昭和54年 3月 岡山県立和気閑谷高等学校 卒業  
昭和54年 4月 日本国有鉄道 入社  
平成31年 3月 和気町議会議員  
令和 元年 7月 JR西日本(旧日本国有鉄道) 退職  
令和 3年12月 和気町議会議員 辞職  
令和 4年 4月 ~ 和気町長選挙において初当選

現在に至る

備前市長

吉村 武司



昭和21年7月24日生まれ  
昭和40年 岡山県立備前高等学校卒業  
昭和44年 関西大学文学部卒業  
昭和46年7月 社団法人岡山青年会議所 入会  
昭和56年4月 備前市連合PTA 会長 就任  
平成16年4月 社団法人岡山経済同友会 入会  
平成18年1月 備前自動車備前教習所会長 就任  
平成22年11月 備前商工会議所会頭 就任  
平成23年4月 備前市観光協会会長 就任  
平成23年6月 備前ロータリークラブ会長(会期1年)就任  
平成25年2月 備前商工会議所会頭 退任  
平成25年4月 備前市長 就任(1期目)  
平成29年4月 備前市長 退任  
令和3年4月 備前市長 就任(2期目)

瀬戸内市長

武久 顕也



【学 歴】 2003年12月 英国バーミンガム大学 公共政策大学院修士課程 修了

【経 歴】  
1992年3月 筑波大学農林学類卒業 1996年4月 岡山県邑久町議会議員  
2001年9月 バーミンガム大学公共政策スクール地方政府研究所留学(公共経営管理学修士)  
2003年10月 監査法人トーマツ大阪事務所 パブリックセクターシニアマネジャー  
2007年4月 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科准教授  
2009年7月 瀬戸内市長 就任  
2015年3月 京都大学大学院経済学研究科博士後期課程(学修認定退学)  
2016年4月 関西学院大学専門職大学院客員教授

株式会社 日本医療企画 代表取締役

林 諄



石川県出身。昭和38年、神戸商大経営学部卒業後、サンケイ新聞(現産経新聞)大阪本社入社。地方部、経済部、昭和48年7月から東京本社にて旧通産、厚生省等担当を経て51年、企画委員に就任。53年、同社退社。  
現代問題研究会、内外問題研究所創設、代表に就任。  
昭和55年4月26日、能登企画を創立(昭和57年1月18日、日本医療企画に社名変更)、代表取締役として就任。平成5年10月、(財)医療経済研究機構理事。  
平成13年5月24日、ヘルスケア総合政策研究所を創立、代表取締役として就任。  
平成22年11月、一般社団法人日本医療経営実践協会理事、平成24年9月、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事、平成26年1月、一般社団法人介護福祉指導教育推進機構理事、平成26年5月、一般社団法人日本栄養経営実践協会理事、平成30年11月、一般社団法人日本メディカルスポーツ協会理事に就任、現在に至る。(財)日本医療教育財団理事。平成27年12月、東久邇宮国際文化褒賞を受賞。

## 開催趣意

岡山県三大河川の一つで、県東部を流れる吉井川は、古くから交通の要路として「高瀬舟」など舟運が栄え、川を行き交う人々を通じ、多様な文化を育んできました。国土交通省によると、流域は津山、美作、赤磐、備前、岡山、瀬戸内市、鏡野、美咲、奈義、勝央、久米南、和気町、西粟倉村の6市6町1村。流域面積は2110平方キロにもなります。

この吉井川で記憶に新しいのが、1998（平成10）年の台風10号による洪水で津山市の石岡牧場から川を下って瀬戸内市沖の離島・黄島まで約90キロ流されながらも生還を果たした奇跡の牛「元気君」です。当時生後6カ月の子牛の奇跡の生還劇は、全国区の話となり、命の大切さや勇気、諦めない気持ちを人々に与えてくれました。元気君はその後、おかやまファーマーズマーケット・ノースヴィレッジ（勝央町岡）で飼育され、2020（令和2）年1月14日に老衰で死亡。21歳で、人間に換算すると105歳程度となる長寿でした。地元・勝央町には2021（同3）年2月、元気君のブロンズ像が建てられ、町のシンボルとして親しまれています。

「元気君」だけではなく。江戸時代、大流行した天然痘を予防する牛痘種痘の拠点となったお玉ヶ池種痘所（のち東京大学に変遷）の開設に尽力した津山藩医で洋学者の箕作阮甫（みつくり・げんぽ）、健康や農耕の神とされる牛頭天王（ごずてんのう）を祭り、「牛神さま」として知られる田倉牛神社（たくらうしがみしゃ）＝備前市吉永町福満＝をはじめ吉井川流域には、牛にまつわる人物や文化、歴史が数多く存在します。

今回のシンポジウムは、岡山県東部の吉井川流域に焦点を当て、「牛」を一つのキーワードにして、人と文化の交流（ネットワーク）、地域経済の活性化、教育人材育成の方策を考えます。流域内外の自治体首長や関係者、学者らに現状報告や提言をしていただき、当研究会の目的である、国連が提唱する「SDGs（持続可能な開発目標）」と、厚生労働省が掲げるビジョン「地域共生社会」の実現に向けて道筋を探っていきたくと企画しました。

少子高齢化による過疎化に加え、新型コロナ禍で混沌とした社会の課題を解決するカギは、それぞれの地域の文化や歴史、魅力を掘り起こし、それを前進させることです。ぜひご参加いただき、岡山県全体のよりよい未来を、皆さんと一緒に見いだしたいと思っております。Webでの参加もお待ちしております。

地域共生社会研究会 代表 青木 佳之

## 参加申込フォーム



←会場参加 URL: <https://kokc.jp/e/8ceebe49b9b7a365cd61c153adf0bcde/>

Web 参加 URL: <https://kokc.jp/e/ebed25c41e72ddbdcfeff048e1198d240/>→



あいの光医院・牛窓 瀬戸内市牛窓町牛窓

岡山方面から車でお越しの方は岡山ブルーラインの邑久インターで下りられるのが便利です。

「あいの光・牛窓」のホームページよりアクセスマップをご覧ください



こちらのQRコードからアクセスマップをご覧ください

<https://www.aino-hikari.jp/accessmap/>

※参加申込書に不備があり、ご連絡が取れない場合はキャンセルとさせていただきます。



## 地域共生社会研究会 事務局

住所：岡山市南区大福 281-5（青木内科小児科医院内）

TEL：086-281-2267

E-mail: [chiikikyousei.okayama@gmail.com](mailto:chiikikyousei.okayama@gmail.com)

※当日7月17日のお問い合わせは↓こちら↓へお願いいたします。

当日お問合せ先：086-934-6161（あいの光ホール）